

# 大 会 宣 言

次代を担う子どもたちが豊かな心を養い、自主性・創造性を培い、心身ともに健やかに強くたくましく育つことは全ての市民の願いです。

子どもたちを取り巻く社会環境やライフスタイルの変化は、地域社会における人間関係の希薄化をもたらし青少年の行動、生活、意識にも大きな影響を与えています。核家族化、少子化が進行し、親の過保護や過干渉の傾向の中で、子どもたちが地域社会での関係づくりや社会的自立が以前よりも遅れている状況にあると言えます。

久留米市では、各校区や地域で青少年の健全育成事業や非行防止教室など、青少年支援事業を行ってきました。その結果もあり、ここ数年少年非行の発生件数は減少しています。

しかし、インターネットやスマホ等、情報機器の急速な普及に伴い、SNSによるトラブル、ネットいじめや自画撮り被害、スマホ依存等の新たな問題が発生しています。登下校時の子どもたちの安全を脅かすような不審者情報や声かけ事案等も後を絶ちません。また、不登校、引きこもり、孤独孤立、非行・犯罪、貧困など、困難を有する青少年やその家族への支援も大きな課題です。

今大切なことは、子どもたち一人ひとりが人間関係を結ぶ力を高めたり、積極的に社会的自立を図っていくことです。そのためには家庭や地域において成長段階に応じた自然や人とのふれあいなどの体験の場や機会、同世代間、異世代間との交流の機会がたくさん用意されていることが必要です。今、政府が進めている、全ての子どもや若者が将来にわたって幸せに暮らせる「こどもまんなか社会」を目指し、家庭、学校、地域、行政など関係機関等が連携・協力して対応することが非常に重要です。

社会が大きく変化していく中で、「地域の子は地域で守り育てる」を基本に、家庭、学校、行政等が一体となって社会全体で久留米市がめざす「青少年の非行を生まない社会づくり」および、「子どもの笑顔があふれるまちづくり」を共に推進していきましょう。

全ての市民の皆さんと共に明るく希望が持てる久留米のまちづくりと、青少年の健全育成に力を合わせて取り組むことをここに宣言します。

令和7年 7月 19日

第46回久留米市青少年健全育成市民大会